



2024年6月13日

各 位

会 社 名 ヤマトホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長尾 裕
(コード番号：9064 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 IR担当 檜本 敦司
(TEL. 03-3541-4141)

第159期定時株主総会招集ご通知の補足説明について

2024年6月21日に開催を予定しております当社第159期定時株主総会の招集ご通知(以下「招集ご通知」といいます。)に記載の内容に関し、下記のとおり補足説明いたします。

記

招集ご通知の31頁から32頁にかけて、本年2月5日に当社が発表したヤマトグループ中期経営計画「サステナビリティ・トランスフォーメーション2030 ～1st Stage～」(以下「中期経営計画」といいます。)の資料から一部を抜粋し、<ご参考>として掲載をしております。

同31頁の下段「成長イメージ」内「事業ポートフォリオの変革」の左側円グラフ下に記載している営業収益(2024年3月期 1兆7,650億円)は、中期経営計画発表時点(2024年2月5日)での予想数値になります。

なお、2024年3月期の営業収益の実績は同23頁に記載のとおり1兆7,586億円です。

以 上

〈ご参考〉

ヤマトグループ中期経営計画 「サステナビリティ・トランスフォーメーション2030 ~1st Stage~」

目指す姿

経営理念
ヤマトグループは、社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、より便利で快適な生活関連サービスの創出、革新的な物流システムの開発を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ヤマトグループの目指す姿(～2030)
持続可能な未来の実現に貢献する
価値創造企業
環境価値 × 経済価値 × 社会価値

中期経営計画 SX2030 ~1st Stage~

「高ぶ」につながる物流

不確実性の高まり

事業課題/社会課題

- EC化の進展
- 気候変動の深刻化
- 労働力人口の減少 少子高齢化/高齢化
- 地球学リスクの増大
- 2024年～2030年 輸送力不足の深刻化
- テクノロジーの進化

成長イメージ

EXP事業(基盤)の強化と事業ポートフォリオの変革(事業領域の拡大)により
飛躍的な利益成長の実現を目指す

2027年3月期計画

営業収益	2兆～2兆4,000億円
営業利益	1,200～1,600億円
営業利益率	6%以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	800～1,000億円
ROE	12%以上
ROIC	8%以上

事業ポートフォリオの変革

営業収益構成比

- 基盤領域(EXP・GS)※
- 成長領域(CL/グローバル)
- 新規領域

2024年3月期 1兆7,650億円

2027年3月期 2兆4,000億円

2031年3月期目線 営業利益率：8%以上 ROE：16%以上 ROIC：12%以上

※EXP:気候変動に配慮した輸送サービスである宅急便を中心とする国内輸送事業 GS:グループサポート(ヤマトシステム開発等) CL:コントラクト・ロジスティクス